

第3回 三次市まち・ゆめ基本条例検証委員会 会議要旨

1. 開催概要

日 時：令和7年11月13日（木）9時50分～10時50分

場 所：市役所本館 6階 602会議室

出席者：

（委員長）	久保田 博昭	三次市住民自治組織連合会 会長
（副委員長）	佐藤 明寛	三次商工会議所 会頭
（委員）	松島 和枝	三良坂町自治振興区連絡協議会 事務局員
	喜多嶋 秀美	三次市集落支援員
	岡田アントニールイス	公募委員
	松尾 宏	三次広域商工会 会長
	安藤 由子	国際ソロプチミスト三次 会長

事務局：三次市地域共創部まちづくり交通課

2. 会議次第

1 開 会

2 前回委員会の振り返り

3 協議事項

三次市まち・ゆめ基本条例の検証に関する提言書（案）について

（1）意見交換

（2）市長への提言書提出について

4 そ の 他

（1）中学生まちづくり作文の今後の取組について

5 閉 会

【資料】

- ・ 前回会議の主な意見，提案

3. 議 事

1 開 会

＜事務局より、次の事項を連絡＞

- ・会議録及び、委員名簿を、市のホームページ上で公開すること。
- ・会議録作成のため、会議を録音すること。

(意見等なし)

- ・中学生まちづくり作文審査結果について。

3 協議事項

(1) 意見交換

(委員)

提言書について、市が出すものは役所言葉が多く子どもたちにはわかりにくい。今回の提言書は、日常で使う言葉を使って作っていただけており、今までの提言書とは見た目は違うが中身は引けを取らないものになっている。議会の部分まで触れていていいと思う。

(委員)

同感。とてもわかりやすい。昨日社会教育委員会議の研修に出席したが、これからは小学生・中学生に三次市のいいところを伝えていこうという話がでた。

(委員)

読みやすくてわかりやすくて、心に入ってくる言葉だと感じた。今までと同じ内容も言葉を変えるだけでこんなに親しみやすい文章になるのかと感じた。

統廃合の話についても、仕方ない流れだと思うが、市がわかりやすく、早く情報を伝えてほしい。早い段階で情報提供して、わかりやすい言葉で伝えてもらったら、しっかりこれからのことを考えることができるし、子どもたちも安心して教育が受けられると思う。

(委員)

自分の子どもが小学生だが、初めてこういうことに関わって、三次にこんなにいいものがあると教えてあげることができる。この提言書の文章は少し難しいかもしれないので、親がしっかり噛み砕いてやったら、年齢が低くても伝わると思う。そのためには、私自身もしっかり学ぶ必要がある。この会議で、「三次市の憲法みたいなもの」だと知って、子どもとの関りの中で使っていきたい。私自身、今回すごくいいものに触れあっていると感じている。これからも積極的に子供に伝えていきたい。

(委員)

さっき事務局が提言書を読んでいただいた時に、すんなり耳に入った。最近、いくつか三次市の会議に参加したが、みなさん三次のことを考えていろいろ動いておられる。市民がそういう場に参加することが必要だと感じた。

（委員）

提言書の内容については、大変わかりやすくいいと思う。先ほど話がでた社会教育委員会議の研修に私も参加したが、「人と人をつなぐ」がテーマで子どもたちと親をつなぐ、親同士がつながっていく、そういう子どもたちによって人同士の関係がよくなり、将来のことを学んでいって、最終的には地元の良さを感じてくれたら、いつか地元に戻ってくれるんじゃないか、いい循環になるのではないかという話を聞いた。今回の提言書の内容と一致すると感じた。

（委員）

提言書の案は事前にメール等で送ってほしかった。ここで読んで理解はできるが、事前にもらっていれば、もっと深く読み込めたんじゃないかと思う。

前回の提言書と見比べてみたが、わかりやすく読みやすく、若い人にも理解できるような書き方はすごくいいと思う。内容が前回と重なるということは改善されていないということなので、そこを強調したい。ただ神棚の上に掲げるだけではなく、小学3年か6年か中学3年かどこかの場面で生徒さんにきちんと読んでいただく機会を決めていかないと。

議員にアンケートをとったことはよかったと思う。議員のみなさんも、もう一回振り返って読んでいただく機会があったと思う。できれば、何かの機会にもう一度読んでいただきたい。内容はすごくいいし、伝わりやすいと思う。

（事務局）

教育委員会へは、毎年校長会を通して依頼しているが、徹底していない部分もある。教育委員会へ、授業をする時間を確保してもらうよう依頼していく。そのためには、うちもちゃんとしたものを提供できるよう準備しないといけない。総務課へも職員研修の内容に入れてもらえるよう依頼していく。

（事務局）

提言書4の「自ら動きを作ったり」という表現はどうか。提言書の案は教育委員会にも見ていただいてアドバイスをもらっている。

（委員）

「自ら行動したり」という表現でいいのではないか。

（委員）

市役所は、担当課でできたら終わりだと思っていた。教育委員会と連携しているのはすばらしい。

（事務局）

みなさんに修正したものを郵送させていただく。提言書の提出は、例年委員長が代表して提出されているが今回はどうか。

(委員)

お忙しいとは思いますができればみんなで出したい。行ける人みんなで。

(委員)

検証委員会は4年に1度だが、作文は毎年やるのでそれにあわせて、「まち・ゆめ」を思い出す機会を作ったらどうか。今回3段階評価がむずかしかったので5段階くらいならいい。

(委員)

表彰について、全体から課でしぼった作品に優秀賞、そこからさらに3つに絞ったものを市長賞、議長賞、教育長賞という形にしたらどうか。

(委員)

子どもたちもたくさん表彰される方がいい。

(委員)

かかわっていくことが大事。全市的な取り組みになるよう、工夫をお願いしたい。

(2) 市長への提言書提出について

委員会から市長へ提言書を提出することで確認。

4 その他

(1) 中学生まちづくり作文の今後の取組について

次年度以降も継続実施することで確認。

5 閉 会